

意欲的に活動する生徒を育てる学級経営のあり方

—— 係活動・自己点検表の活用を中心に ——

糸満市立西崎中学校 中村 愛子

指導講師 西崎中学校教頭 上原 康一

内容要約

授業が成立しない学級の増加が、大きな社会問題となっている。学級を上手に運営していくための学級担任の役割は、とても大切である。係活動において生徒たちを主体的に動かすために、係活動の意義・内容を理解させ、班編成を工夫した。そうすることで自主的に活動するようになった。又、学校生活の中で自己をみつめるための自己点検表をつけることによって目的意識をもち、充実した学校生活を送ることができる。

【キーワード】 自主的・意欲的、自己点検表、係活動、学級経営、自己評価

目 次

I	テーマ設定の理由	71
II	研究の仮説	71
III	研究の全体構想図	72
IV	研究内容	
1	学級経営の意義	73
2	学級経営の内容	73
3	学級担任の姿勢	73
4	係活動と当番活動	73
5	係活動を意欲的に取り組ませるための指導の工夫	74
V	実践活動	
1	学級の実態調査	75
2	学級会を通しての話し合い活動	76
3	係活動の実際	77
4	自己点検表の活用	79
VI	研究の成果と課題	80

意欲的に活動する生徒を育てる学級経営のあり方

—— 係活動・自己点検表の活用を中心に ——

糸満市立西崎中学校教諭 中 村 愛 子

I テーマ設定の理由

授業が成立しない学級(学級崩壊)の増加が大きな社会問題となっている。その背景や原因はいろいろ考えられると思うが、とりわけ深刻に受けとめなければならない重大な問題である。

一日の大半を学校で過ごす生徒たちにとって『学級』の持つ意義は大きい。そして、学級を運営していく学級担任の役割はとても大切である。生徒一人ひとりのよさや可能性を見だし、自己実現できるよう支援することが求められているからである。

学級の実態を見てみると、明るく、素直で、自分の考えていることは、はっきり述べる積極的な生徒が多い反面、夜更かしによる睡眠不足や、学習能力の遅れから授業中に寝る無気力な生徒もいる。又、周りにいる級友の目を気にするあまり、自分の行動やことばに自信がもてず、友達が作れない生徒もいる。

生徒たちにとって、学級は、一人ひとりが、所属感や有用感を持ち、生き生きと活動しながら集団生活を通して、人格形成を図る場である。また、互いに切磋琢磨して自己目標の達成に向けて、頑張る和やかな場でもある。私は、学級担任として日々心がけてきたことは、生徒たち一人ひとりの個性を尊重し、コミュニケーションを図り、生徒教師間の信頼関係と生徒相互の人間関係作りを第一に学級経営を努めてきた。そのための手だてとして最も大切にしてきたことは係活動である。係活動を通して、生徒同志が協力しあうことで好ましい人間関係を育てることができるし、また、生徒一人ひとりの自主性や責任感も育てることができる。実践を振り返ってみると、係は作ってはみたものの、あまり能率的に運営されていなかったような気がする。その原因を次の4項目ほどあげてみた。

- 生徒達の願いを考えずに、教師が主体になって決めた係であった。
- 係活動の意義、内容を十分に理解させていなかった。
- 活動時間を確保していなかった。
- 活動状況を見直し、反省させていなかった。

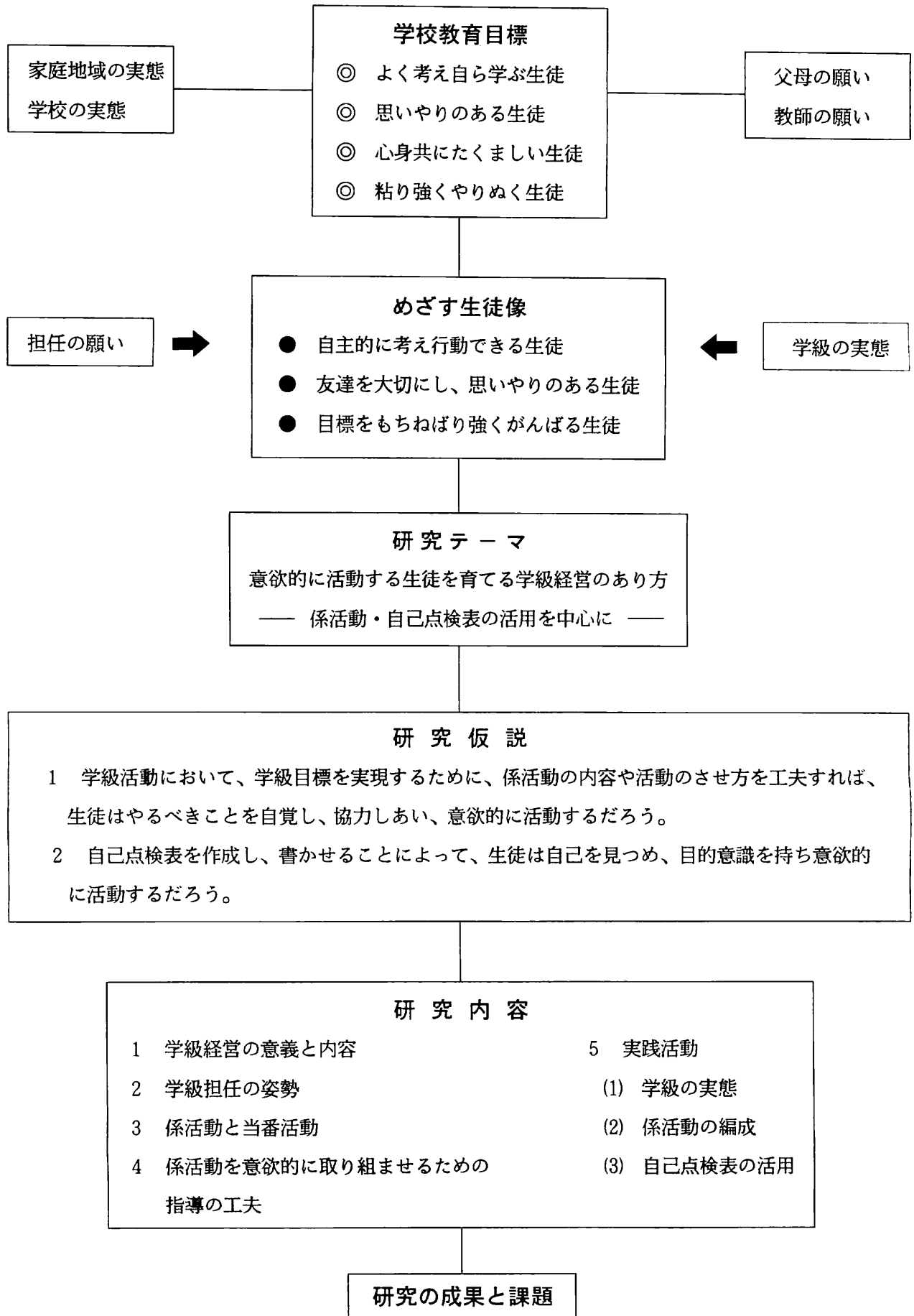
これらの反省をふまえ、意欲的に係活動に取り組ませるために、次のことに配慮して実践していきたい。1つめに、係を編成する際には、生徒達の願いや思いを考慮して編成する。2つめに、生徒達に係活動の意義、内容を十分に理解させる。3つめに、活動の途中で随時活動状況を見直し反省させる。4つめに、係の活動のようすがわかるように掲示物、朝の会のあり方を工夫する。

又、自己点検表によって、その日の目標を立てさせ、反省をさせる。そうすれば、自己指導力を養うとともに、意欲的に活動し、充実した学校生活が送れるだろうと思い、このテーマを設定した。

II 研究仮説

- 1 学級活動において、学級目標を実現するために、係活動の内容や活動のさせ方を工夫すれば、生徒は、やるべきことを自覚し、協力しあい、意欲的に活動するだろう。
- 2 自己点検表を作成し、書かせることによって、生徒は自己を見つめ、目的意識をもち意欲的に活動するであろう。

Ⅲ 研究の全体構想図



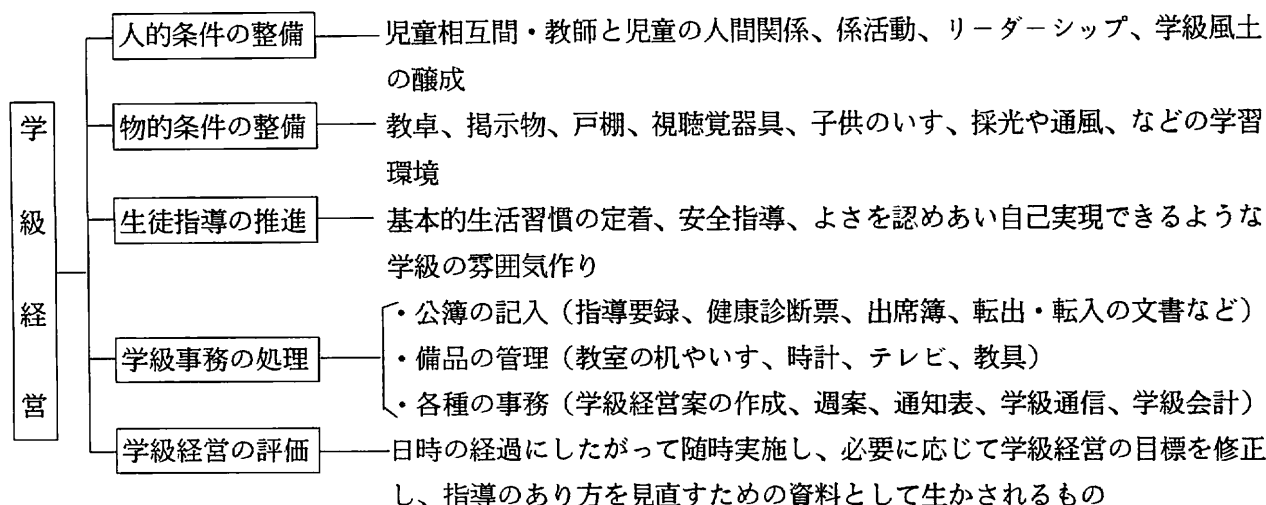
IV 研究内容

1 学級経営の意義

「学級経営の基礎・基本」（下村哲夫・天笠茂・成田國英）によると、「学級経営とは、学級において、児童・生徒の学習が有効に成立するように人的・物的・運営的諸条件を統一的見地から整備する作用である。」と述べている。すなわち学級の教育目標の実現を目指して、意図的に計画を立案し、その効果的な運営を図ることである。学校における児童生徒の人間形成や成長発達には、その大部分が学級の中で行なわれる。学級経営が効果的に行なわれるかどうかによって、児童生徒の学校生活や人間関係が豊かになるかどうか左右される、といえるほど学級経営は大切な教育活動である。

2 学級経営の内容

学級経営の内容について「学級経営の基礎・基本」を参考に次の5つに分類した。



3 学級担任の姿勢

学級は、児童生徒にとって、毎日の学校生活の中心であり、仲間とともに学び、遊び、活動することにより成長、発達を遂げていく人間形成の場である。そして生徒たちが毎日を明るく楽しく生活できる居心地のいい場所、つまり充実した生活の中で、一人ひとりが自己実現できる場でなければならない。そのため学級担任の役割は、生徒たち一人ひとりの個性や願い、問題点や人間関係を把握し、生徒たちが安心して学校生活を送れるように配慮しなくてはならない。担任が、個々の児童生徒と明るく信頼しあえる人間関係を築き、児童生徒をよりよく理解し、支援していくことが大切である。そうすることによって、生徒たちは、お互いの考えや意見を出しあい対立や葛藤、我慢や反省、譲歩などの体験を繰り返しながら、学級の一員としての役割を自覚し、協力しあってよりよい生活を築くことができるのである。支持的風土の中で生徒のよき相談役となり情熱をもって生徒と関わっていくことで生徒も豊かな人間性を育むことができると考える。

4 係活動と当番活動

(1) 係活動の意義

集団が生き生きと活動し、機能していくためには、その集団の成員が役割を分担し、力を発揮していくことが必要である。係活動がその主な場になる。学級に必要な係活動を生徒の力で自主的に活動することによって、充実した学級生活を送ることができる。また、生徒自ら係活動を実践する中で学級内の問題点に気づき、活動する過程で創造性や協調性が生まれ、集団の一員としての資質や能力・態度が育つものである。つまり、係活動によって生徒一人ひとりの自主性、責任感を育てることができる。係活動の意義をまとめてみると

- ① 内容のある望ましい集団活動を育てるのに役立てることができる。
- ② 勤労意欲を高め、正しい勤労観を育てることができる。
- ③ お互いの連帯観を育て、人間性の回復に役立てることができる。

- ④ 自己実現のための自主性、責任感を育てるのに役立てることができる。
- ⑤ 信頼関係を育てることができる。

(2) 係活動と当番活動のちがい

係活動を活発にするために、係活動と当番活動のちがいを区別してみる。

	指導の重点	仕事の内容	仕事の分担	評価
係活動	・自発的、自治的活動の力を伸ばす ・創意工夫の奨励	・学級生活をより楽しく、より豊かにするために子供自身が作り出す仕事 ・子供達が話し合いによって計画し、実施していく仕事で変化にとみ創意工夫が生かされる仕事	・分担を話し合いによって決める。グループを作る場合が多い。 ・子供全部に平等に経験させるのは難しい。 ・毎学期程度に交代する場合が多い。	・過程を重視するとともに、自発的な集団活動になっているか、創造的な活動になっているかどうかにウェイトをおいて評価する。
当番活動	・なすべき仕事を正確に責任をもってやらせることに重点をおく ・創意工夫も大切であるが、決められたことを決められた時間内にできるだけ上手にやることに重点をおく	・学級生活をきちんと送るために、毎日だれかがならなければならない仕事 ・年間を通して毎日、毎週、毎月など仕事の内容が決まっており、変化をもたせる部分もあるが、係活動に比べると機械的な処理が必要な仕事	・分担方法を話し合っている場合もあるが、名簿順とか、座席順とかで決める場合が多い。 ・全ての子供達に平均に経験させることが比較的やりやすい	・過程も見ることがあるが、結果を重視しその日、そのつどのできばえにウェイトをおいて評価する。

5 係活動を意欲的に取り組ませるための指導の工夫（石狩教育研究所の紀要を参考にした）

(1) 係活動の計画と運営

係活動は、学級に必要な仕事を生徒の自発的な活動を通して行なわれるものであり、充実した学級生活の向上を図る意味でも、学級活動にはなくてはならない活動である。

係活動を実施するには、教師の適切な指導・助言のもとに生徒が学級の実態を把握して学級の目標や係活動のねらい、内容や方法などを十分に理解し、計画的に行なわれなければならない。そして、学級に必要な係、班編成をの方法もよく話し合いをもって行なう必要がある。

係活動を計画する時には、教師が適切な指導助言をして継続して行なえる活動計画にする。

係活動の設定においては次の4つを考慮する。

- ① 生徒がどのような学級を望んでいるか。
- ② 学級の実態をふまえて必要な係は何か。
- ③ 班編成はどのようにするか。
- ④ 活動内容はどのようなものか。

(2) 係活動における支援のあり方

学級担任は、気軽に意見交換ができ、励まし合い、認め合う中で協力的な雰囲気が高めることが大切である。生徒一人ひとりに対して活動の目的、内容、方法などを明確にして活動できるように支援援助する。

(3) 自主的に取り組む係活動の工夫

① 係活動の内容

学級担任からの一方的なおしつけでなく、生徒が自分で学級生活を豊かにするために自主的、実践的な活動ができるように生徒が必要と思う係を決める。その時、学級担任は、学級における身近な課題に気づかせ、一人ひとりが興味、関心を持つような活動の方法を考え、全員が参加できる係活動にする。

② 班編成の工夫

生徒一人ひとりのよさが生かせるような班編成が大切である。ややもすると気のあった者どうしの集まりになりがちである。そのため、めざす学級のイメージを明確にする必要がある。自己実現させるために、自分のよさが発揮できるような楽しくやりがいのある班編成の方法や内容を工夫することが大切である。

③ 活動時間

せっかく計画をしても活動時間が確保されなければ計画だおれになってしまう。活動ができるよう時間の確保が大切である。(P 7 参照)

④ リーダーの育成

係活動を活発にするためには、リーダー(班長)の果たす役割は大きい。学級担任はリーダー(班長)との連絡を密にし、班長会なども適宜もうける。

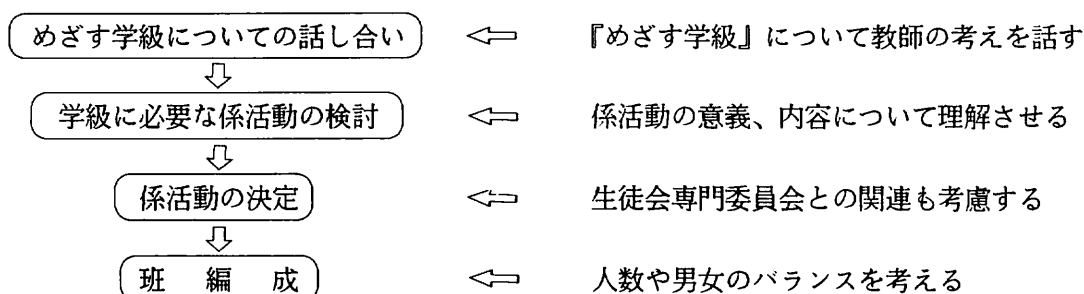
リーダーに活動状況を報告させ、励ましたり、助言を与えたりする。また、特定の生徒に限らず、できるだけ多くの生徒にリーダーとしての役割を与えそれぞれのよさを発揮させる。

(4) 学級目標から班編成までの過程

学級目標の実現に向けて、生徒自身が学級の実態をふまえ学級に必要な活動内容を考え、班編成をする中で、自主的に係活動を展開することが学級活動の活性化につながるものとする。

《 生徒の活動 》

《 教師の支援 》



V 実践活動

1 学級の実態調査

(1) 目的

学校生活の場面において生徒がどのように考え、行動しているのかを把握し学級活動(係活動)を意欲的に取り組ませるためにクラス全員を対象に調査する。

《教研式DREAMより一部を抜粋》 ※ 下にあげる質問項目は全国に比べて低い数値である

資料 1

質 問 内 容	は い	どちらとも	いいえ
① 系の活動にはりあいを感じている。	8 %	56	36
② 毎日の学校生活を楽しくすごしている。	36	56	8
③ 何事も自分の考えに従って行動する。	0	77	23
④ 係などの仕事を理解し進んで取り組んでいる。	13	51	36
⑤ 系の仕事を責任をもってまじめにやる。	18	51	31
⑥ 委員や系の指示は時分の考えとちがっても従う。	26	54	21

(2) 結果と考察

アンケートの結果から、学校生活そのものにはおおかた満足しているが係活動に関しては目的意識が低いことがわかった。それは係活動の内容について十分理解していないこと、集団の中での他のかかわり方が不十分であることからわかる。そこで、係活動の意義、内容について理解させ係活動について話し合う必要があると考え、学活の時間を利用して話し合いをもった。

3 学級会を通しての話し合い活動

(1) 日 時 平成11年11月12日(金) 5、6校時

(2) 対 象 糸満市立西崎中学校 3年5組 男子18人 女子20人 計 39人

(3) ねらい

学級の実態を把握し、学級の課題を見つけ、係活動を見直すことにより、クラスに必要な係を作ることによって、お互いの役割分担を理解し、学級の一員として責任を持ち行動できるようにする。

(4) 授業の展開

	授業の流れ	生徒の活動	教師の活動	評価
導 入	議題の確認	・始めのあいさつ(級長) ・議題の発表(〃)	・級長に前もってねらいを把握させ、会のすすめ方について助言しておく ・学級の様子について話す	・本時のねらいを把握しているか ・級長は会のすすめ方について理解しているか。
展 開	学級の実態について反省する 係の活動について反省する グループの話し合い グループの発表 全体の話し合い	・学級の改めるべきことについて考える ・1学期の係活動について反省する ・グループから一人話し合いのまとめを発表する ・全体で意見交換をする ・新しい係を決定する	・学級の改めるべきことについて考えさせる ・1学期の係活動について反省させる ・各グループを机間巡視して指導助言する	・自分達で問題点を見つけることができるか ・各自話し合いに積極的に参加していたか ・各自が自分の意見や考えをまとめて発表できるか

11月12日（金）6校時

	授業の流れ	生徒の活動	教師の活動	評価
ま と め	班編成をする	・班長の立候補をする（男女各1人） ・班員を決定する	・生徒が自主的に立候補できるようにうながす ・自分のやりたい係になるよう配慮しながら決めさせる	・自主的に立候補できるか ・話し合いに積極的に参加しているか
	グループの話し合い	・活動計画を立てる ・終わりのあいさつ（副級長）	・机間巡視して指導助言する ・学活についての感想を述べ激励する	・新しい係活動の計画を立てられたか

(5) 評価の観点

ア 係活動の意義、内容を理解したか。

イ 1学期の反省をふまえ新しい係活動の計画を立てられたか。

ウ 自主的に話し合いに参加できたか

(6) 話し合い活動の内容と結果

話し合いの中で、学級の課題としてあがったことは①身なりがいつも悪いと注意されることが多い。②朝自習ができていない。③授業中に寝る子が多い。④係活動ができていない。などがあげられた。また、係活動ができていない理由として①係活動の内容がわからない、②やる気がおらない。③自分のやりたい係ではなかった。④メンバーとうまくいかない。などがあげられた。

これらの課題をふまえて新しい係編成は、自分のやりたい係であること、クラスに必要な係であることを考慮して話をした。その結果、1学期は6つの班で編成されていたが、1グループの人数が多いということと、朝自習が他のクラスに比べてしっかりできていないということで、新しく朝自習係とHELP係がもうけられた。また、班長を立候補制にし、班員は自分のやりたい係を自由に選ばせた。人数のかたよりもあったが、話し合いで解決した。

3 係活動の実際

(1) 係活動の内容

- ・ 図書係 …………… 図書の紹介・読書調べおよび記録
- ・ 掲示係 …………… 教室内の掲示物の工夫
- ・ 新聞係 …………… 新聞を2週間に1回発行する・トピックを紹介する
- ・ 整美係 …………… 教室内をきれいにする
【テレビの下・後ろの棚の上・清掃用具入れ・落書き消し・その他】
- ・ 学習・レク係 …………… テストにむけての時間割り作り・テスト範囲の掲示
置き本調べ・学校行事に関することを企画、運営
- ・ 生活係 …………… 身なり調べ
- ・ 朝自習係 …………… 朝自習時の点検・読書の推進
- ・ HELP係 …………… 自己点検表の推進・係活動の推進・担任の手助けをする

(2) 係活動の工夫

1学期の反省をふまえ、係活動がうまく機能するために次の5つを考慮し実践してみた。

① 活動時間の工夫

活動時間は45分の休憩、放課後、学活のいずれかを各係に決めさせ活動することにした。

② 係活動日誌の工夫

係によっては、毎日活動する係、週1回活動する係もあるので週単位で計画をする。月曜日の45分休憩時間に計画を立て、土曜日の帰りの会で反省させた。

資料2

今月の目標

	月	火	水	木	金	土	評価
1週							
2週							
3週							
4週							

A 一人ひとりが協力し合い計画通りにできた C 計画通りにできなかった
B 計画したが十分できなかった

反省

先生のサイン

③ 掲示物の工夫

係活動の計画を立てても忘れてたりすることがあるので係活動コーナーを作った。

- ・その日に活動をやる係、いつ活動をするかを各係にまかせて掲示させる。
- ・「〇〇係から3-5のみんなへ」と係からクラス全体へのお願いをするコーナーをもうけた。

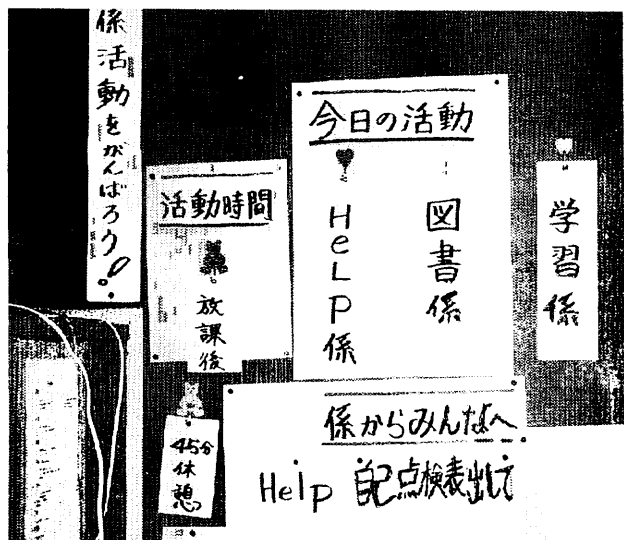
④ 朝の会の工夫

朝の会で各係からの連絡やお願いをプログラムの中に位置づけた。

(例) 図書係から

〇〇さんがまだ返本されていません
明日までに返してください。

資料3



⑤ 係活動の評価の工夫

係活動が計画通りにできているかを随時評価することは活動の活性化につながる。

生徒自身の自己評価とグループでの相互評価がある。次に例をあげてみる。

資料4

自己評価

	はい	ふつう	いいえ
① 係活動に積極的に参加したか。			
② 仲間と協力し活動できたか。			
③ 工夫して活動できたか。			
④ 責任をもち最後まで活動できたか			

反省

相互評価

	はい	ふつう	いいえ
① 皆で協力し活動できたか。			
② 計画通りに活動できたか。			
③ 工夫して活動できたか。			

反省

⑥ 活動のようす

- 図書係は他のどの係よりも自主的によく活動している。新刊図書がはいった場合は本を紹介したり返本がまだの生徒には返本を催促したり、2週間に1回の割合で読書冊数を調べ記録している。
- 掲示係は教室がきれいに見えるように掲示物を工夫して作っていた。特に3年後期は進路に関する資料が多く進路コーナーをもうけたり工夫がみられた。
- 新聞係は2週間に1回の割合で学級新聞を発行する予定だったが、うまくいかなかったようだ。係からの反省として、活動時間の不足、アイデア不足などがあげられ、もっとクラスへのアイデア提供をお願いすべきであったとの声があった。
- 整美係は教室をきれいにするというで活動していたが、自主的に動くとははいかず教師から指示されて動くことが多かった。
- 学習係は定期テスト（中間・期末）の前に時間割りを作成したり、テスト範囲を各教科担任に聞き掲示物を作り活動した。しかし、置き本調べは生徒からの反感をかい、やりづらい面もあったようだ。
- 生活係は思うように活動できなかったようだ。身なり検査の立場上やりにくい面もあり今は教師が行なっている。
- 朝自習係は朝自習が習慣化していないので定着するまでには時間がかかるようだ。でも係なりに呼びかけ等がんばっている。
- HELP係は自己点検表が毎日のことなので大変だったと思うが生徒への呼びかけ等がんばっている。

4 自己点検表の活用

(1) ねらい

生徒一人ひとりが、今日一日の目標をもつことは、諸活動への意欲づけになる。また、一日をふりかえることにより、明日への決意と、自己指導力を養う。

(2) 実施の方法

一日の始まり、朝の会で目標を決め、帰りの会で一日の反省をする。

(3) 内容

学校生活一日のながれにそって内容を決めた。①チコク ②身なり ③ベル席 ④清掃 ⑤給食 ⑥忘れ物 ⑦学習態度 ⑧健康チェック ⑨係の仕事 ⑩朝読書の項目を評価する。評価の方法は4段階で◎○△×にした。

(4) 生徒の声から（今日の目標）

- ・本を読む
- ・言葉使いに気をつける
- ・合唱コンクールをがんばる
- ・友達と仲良くする
- ・ベル席を守る
- ・時間を有効に使う

《考察》

生徒たちの目標をみると表面的なことに限らず内面的なことにも目をむけていることがわかった。また、学校行事があるとそれにむけての目標が多くなっている。やはり学校行事は子供達の自主性を育てるのに大きな意義がある。

資料5

1 今日の目標

積極的に物事に取り組む!

2 1日の生活点検

①チコク	◎	評価 大量よくできた 目くできた まるまるできた できなかった
②身なり	◎	
③ベル席	◎	
④清掃	◎	
⑤給食	◎	
⑥忘れ物	◎	
⑦学習態度	◎	
⑧健康チェック	◎	
⑨係の仕事	◎	
⑩朝読書	◎	

3 今日の反省

今日は、選挙の時間に新聞の下書きを全部おわらした。次の時間、色をぬり、たりして、きれいに完成させた。だから、がんばらないといけな
い。明日の体育は、じやうまんなので、がんばって走ろう
と思う。明日も一月にたくさん楽しいことある、たら
いと思いたい。お Good Luck!

先生のサイン

Nika

(5) 支援のあり方

- ・ 目標を達成できた時は、おおげさにほめてあげる。
- ・ 目標を達成できなかった場合でも、励まし勇気づけてあげる。
- ・ 相談が必要と思われる子には適宜教育相談を行なう。

VI 研究の成果と課題

1 成 果

- ・ 係活動の意義や内容を理解させることで自分の役割を自覚し、責任をもち活動することができた。
- ・ 活動時間も自分たちで決めることで以前より自主的になった。
- ・ 係活動コーナーをもうけることで、「今日は係活動の日」という意識づけになった。
- ・ 自分のやりたい係をやることで意欲的に取り組むことができた。
- ・ 目標をもつことで努力する姿がみられた。
- ・ 生徒の考え、行動等を把握することができた。
- ・ 生徒どうしの人間関係を把握できた。
- ・ 生徒の変化(内面)も早く気づくことができた。
- ・ 目標を達成できなくても次への意欲につながった。
- ・ 学級経営において係活動を活発にするには、生徒個々の思いや願いを聞き入れ自己決定させることで、意欲的に活動することがわかった。
- ・ 自己点検表や係活動を活発にすることで、より生徒一人ひとりのよさを発見することができた。
- ・ 係活動の意義、内容を理論研究することで、係活動を活性化するための手立てとなった。

2 課 題

- ・ 係のリーダーの育成(時間の確保)。
- ・ 生活系の活動内容の見直し。
- ・ 生徒達のアイデア、工夫が喚起されるような教師の支援のあり方。
- ・ 活動を評価する際の教師の指導助言のあり方。
- ・ 自己点検表の継続指導と生徒達への支援のあり方。
- ・ 係活動の時間の確保と活動の工夫。

<主な参考文献>

下村哲夫・天笠茂・成田國英編著	『学級経営の基礎・基本』	ぎょうせい	1994
宮尾和雄	『新しい学級経営のあり方』	石狩教育研究所	1993
永岡順・奥田楨丈	『学級・学年経営』	ぎょうせい	1995
小林一也・永岡順編著	『学級活動』	ぎょうせい	1995
高橋哲夫編著	『中学校特別活動』	明治図書	1990
杉田儀作著	『特別活動実践』	ぎょうせい	1988
明治図書出版	『特別活動研究』	明治図書	1999

(5月号 8月号 10月号 11月号)